

I 教育計画

1. 教育計画の基本方針

公益社団法人沖縄県看護協会は看護の質の向上、安心して働き続けられる環境作りの推進、併せて地域のニーズに応え、人々の健康な生活の実現に寄与することを使命としている。この目的の実現に向けて、定款第4条に「継続教育等看護の質の向上に関する事業」を挙げている。本協会の継続教育事業をさらに推進・向上させていくために、教育計画の企画にあたっては、教育理念・教育目的・教育目標を基盤とし、看護協会の重点事業や国・県の施策と連動した研修とする等、研修内容の充実を図りながら、看護の専門職業人としてのキャリア開発を支援する。

教育理念

沖縄県看護協会は、社会の変化に伴い多様化する人々の健康上のニーズに対応できる看護専門職の継続教育を支援する。看護専門職として、人々の生命の尊厳と権利を守り、常に最善なケアが提供できるように、生涯にわたってキャリア開発に取り組み、社会の人々に貢献できる人材育成を目指す。

教育目的

看護専門職として社会の人々のニーズに応えるため、看護職一人ひとりの看護実践能力、組織的役割遂行能力、自己教育・研究能力の維持、向上を目指す。

教育目標

1. 看護専門職として、人々の多様な価値観を尊重し、倫理に基づいた安全・安心な質の高い看護が実践できる能力を養う。
2. 多職種協働における看護専門職としての役割を認識し、連携が機能できるような調整能力を養う。
3. 看護専門職に求められるリーダーシップとマネジメント能力を養う。
4. 看護専門職としての責務を自覚し、生涯にわたり看護職としての価値と専門性を発展させる能力を養う。

2. 教育計画の企画にあたって

平成30年度の継続教育の教育計画基本方針を踏まえるとともに、企画にあたっては、教育理念・目的・目標並びに教育体系に基づき、「看護師のクリニカルラダー日本看護協会版」を活用した本協会の「看護師キャリア開発ラダー」及び平成28年度実施した「看護職の研修ニーズ調査」の結果等を踏まえ、全92コース（新規26コース）の研修を企画した。

平成30年度の研修計画は、以下の点を特徴としている。

- 1) 重点事業や国や県の施策と連動した研修として、今年度も、地域包括ケア推進に向け、
①外来看護～時代を超えて求められる患者支援～ ②急性期病院に勤める看護職に求められる退院支援・調整 ③地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み～病院から地域への療養移行を再考する～ ④診療報酬・介護報酬関連研修、また、⑤認知症高齢者の看護実践に必要な知識（認知症加算2対応）⑥認知症ケア・緩和ケアに役立つタクティールケア ⑦多死社会に求められる看取りの看護 ⑧訪問看護関連研修、⑨精神科訪問看護基本療養費算定要件研修、⑩介護施設等で勤務する看護職者研修等を企画した。

また、地域包括を推進するための力量形成に向けた看護管理者研修やキャリア開発を支援する教育者の研修として①コンピテンシーモデルを活用した看護管理 ②ミッションマネジメントと組織開発 ③看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 ④効果的なプレゼンテーション技法 ⑤看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）を用いた学習支援等の研修を企画した。

- 2) 看護実践力向上をめざした研修では、特に、中小規模施設等で勤務する看護職の研修として、
①感染対策 ②救急看護 ③創傷・褥瘡ケア等を企画した。

また、特別企画としてテーマ「裁判例から考える看護実践と看護記録」についての講演会(講師：看護師で弁護士)を企画した。

その他、研修ニーズ調査結果等を踏まえ①自己表現が楽になるアサーションスキル ②発達障害の理解と効果的なコミュニケーション ③臨床瞑想法「心と身体がよみがえるメソッドを体感しよう」④医療現場における苦情対応の基本的考え方等を新規研修として企画した。

医療安全、感染管理、がん看護、災害看護に関する研修、看護職としての倫理観、看護観を深めるための研修等については内容精選し継続開催とした。また、保健師・助産師のキャリア支援として、①自治体における保健師の人材育成 ②周産期におけるメンタルヘルス研修を企画した。

- 3) 教育者・研究者を育成する研修は、例年実施している沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会と特定分野における沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会を開催する。また、研修ニーズの高い新人看護職員研修実地指導者研修及び新人看護職員研修教育担当者研修については継続開催とする。

- 4) 看護管理者育成のための教育課程は、ファーストレベル、セカンドレベルを開講する。またスペシャリストを育成する認定看護師教育課程については、新たに8ヶ月間の緩和ケア認定看護師教育課程を開講する。

- 5) 離島・遠隔地へのインターネット配信研修は、受信先のニーズ等を踏まえ新たに内容を精選し、7コース企画した。

図1. 沖縄県看護協会継続教育の体系図

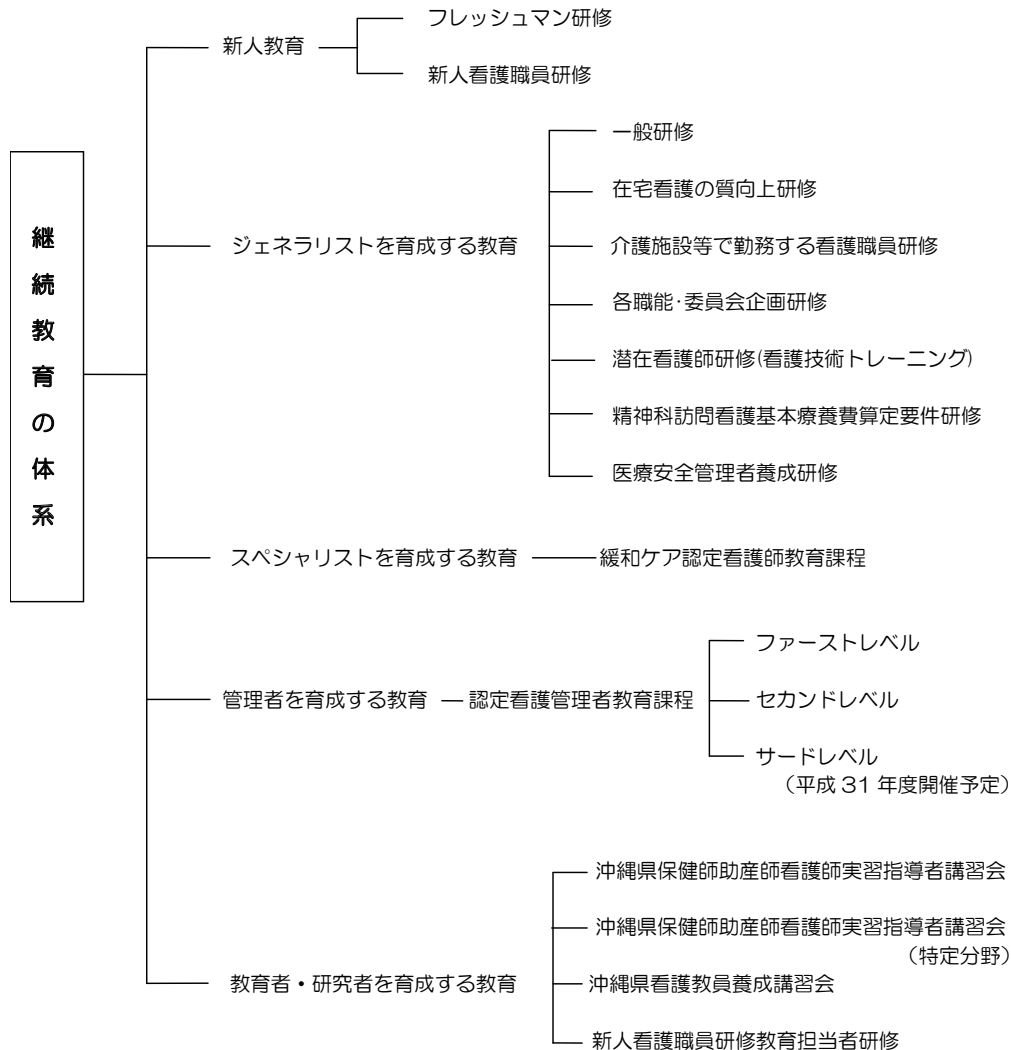


表1 看護師キャリア開発ラダー

	看護実践能力	組織的役割遂行能力	自己教育・研究能力
I	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	責任のもっとも軽い、難易度の最も低い、軽微な組織役割を果たす。看護チームでは、フォロワーやチームメンバーの役割、部署の係としては簡単なルーチンの係の役割を遂行できる。	自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる
II	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	組織の一員としての役割が理解でき、部署の目標達成に向けて基準や手順を順守した行動がとれる。日々の看護業務においてリーダーシップがとれる	自己の学習課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開することができる
III	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	所属する職場で、組織的役割が遂行できる。看護チームではチームリーダーやコーディネーターの役割、部署での係としては、創造的能力を要求される係の役割が遂行できる。	自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や看護学生に対する指導的な役割を果たすことができる
IV	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	所属する職場で、特殊なまたは、専門的な能力を必要とされる役割（学生指導、業務改善係、学習会係、教育委員、リスクマネジメント係など）を遂行できる。自部署の課題の明確化ができる	自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に研究に取り組み、後輩のロールモデルとなることができる
V	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する	所属を超え、組織や地域社会から求められる役割を遂行できる。自部署の課題に対し、具体的解決を図れる。	単独で専門領域や高度の看護技術等について自己教育活動を展開することができる。主となり研究活動を実践することができる。自部署における教育的役割ができる。